

ともにいのちかがやく世界へ

大悲

元本願寺派総長
題字 蓮 清 典 師

(第67号)
2020. 9. 1

昌平寺
昌平寺門信徒会

〒359-0036 所沢市旭町22-8 電話 (04) 2994-8887



第一墓苑内仏塔

令和二年度

昌平寺行事御案内

- 一、秋季彼岸会 9月22日(祝・火)
勤行・法話午後2時～4時
超勝寺住職・著述家・翻訳家
大來尚順師
- 二、開基住職小畑俊哲忌(第一本堂)
11月2日(月)
勤行・法話午後2時～3時30分
- 三、報恩講 12月5日(土)、6日(日)
速夜法要・御絵伝解説
5日(土)午後6時～
勤行・法話
6日(日)午後1時～3時
武蔵野大学名誉教授
山崎龍明師
- 四、成道会の集い(第一本堂)
12月7日(月)
音楽礼拝・法話午後6時～
歓談・懇親会(軽食あり)
午後7時～8時30分
- 五、修正会(元日会)
1月1日(祝・金)午前8時～

『不動而至』の功德

〈仏土に身を置いたままで、十方世界にあらわれて衆生利益の働きをする〉
「教行信証・証卷」より

昌平寺住職 遠山久敬



門信徒の皆様 お元気で過ごしてはいかがでしょうか。

日頃のお寺の運営、寺の行事、法要にご参加ご尽力戴き有難うございます。

A・コロナのお陰？

しかし、その寺の行事も本年は、新型コロナウイルスの感染拡大を心配し、春の彼岸、月例の法話会、春まつり、そして仏教讃歌の集いを中止せざるを得ませんでした。

六月になりやっと月例法話会を再開し、久しぶりの皆様の元気なお姿を拝顔しました。

ところが一方、墓地の担当者のお話を聞くと。「今年は、彼岸

のお参りの人出は、例年になく多く、家族で来られる方が目立ちました」とのことでした。

学校は休み、遊園地、旅行も行けないから、運動がてらお墓にでも行つて「手を合わせてきな！」でしょうか。

合掌・南無阿弥陀仏

この度のコロナ騒動で、いろいろな事が解りましたね。

一、空気が普通に吸える事。

(空气中にコロナ菌がいな
いことの素晴らしさ、マスク無しで呼吸が出来る有り難さ)

二、ご近所へのお買い物。

三、ちよっと一杯の寄り道。

四、毎日、友達に会えること。

五、いつもの通学・通勤。

そんな日常の何でもないことが、実は何でもないことではなく、私に特別に用意されていた

素敵な事だったんだ。と言うことも解った。

コロナで重篤になり苦しんだ人、そして亡くなってしまった方もあり、その代償は大きすぎますが、私たちの気づき、何でもないことへの感謝も大切でした。

昌平寺でも、一堂に会しての会議が開けず、総代会、責任役員会が延期になったり、文章での稟議になりました。

B・ライブ動画の配信！

そこで、昌平寺でもその流れを受けて、

- ・ コロナが心配で寺に来れない。
- ・ 足腰が弱ってきて歩けない。
- ・ 交通手段がない。

等で、毎朝の晨朝勤行・時折の行事に参拝できない人向けに、次のような、ライブ動画配信を始めました。

お子様やお孫様に声を掛けて(使い方のお手伝いをしてもらい)お寺とフェイスブックのお友達になりましょう。

そして、是非一緒に参拝してください。

昌平寺ライブ動画

時間：8:30~9:10

(録音で一日中何時でも)

アプリ：FB(フェイスブック)

発信名：昌平寺

FBの開き方

- ①「FBアプリ」をダウンロード。
- ②初期画面にて、右上にある「≡(メニューボタン)」をタップ、
- ③下から上にスクロールして、「ライブ動画」を選ぶ。
- ④右上の「虫眼鏡マーク」の検索ボタンを押す。
- ⑤「昌平寺」を検索する。
- ⑥上手くいけば、正信偈が流れます。
- ⑦お近くの方と一緒に参拝いたします。
- ⑧お勤めが終了いたします。戻るでも結構です。

※個人情報になる方は「イイネ!」やコメントを入れないで下さい。

九月より昌平寺のホームページから「ライブ動画」が見られます。

定例法話会法話

言の葉のらから

昌平寺讚事本願寺派布教師 花山勝弘



いけばよいのでしょうか？
さて、今回そのヒントとなりうる三名の方々のお言葉を記させていただきます。と思います。

百年に一度といわれる新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるっています。日本でも東京オリンピックの延期やさまざまなスポーツやイベントの延期・中止などいろいろな所で影響が出ています。勿論今後、治療薬やワクチンが開発されれば、それはそれで安心ではあるのですが、物質的な面もそうですが、この状況下で、昨今ではリストラ・会社の倒産などが増え、自死が溢れ、精神的な心の面でも大変な方々が多く増えていることも事実です。

まず始めに今からおおよそ六百年前、蓮如上人と同じ室町時代に生きられた「とんち」で有名な一休宗純こと一休さんは、生涯にわたって自らの生き方を貫き、死を目前にして弟子たちに遺言状を書きました。その遺言状には一休の筆で「ナルヨウニナル シンバイスルナ」と書かれています。あまりにも短いお言葉でしたが、それは道を開く言葉であったといわれています。一休がいう「ナルヨウニナル」とは、何もせずに手をこまねくこととは違い、結果をおそれることなく真摯に取り組むことの大切さを説いているのです。「シンバイスルナ」と自分に言

い聞かせれば、体も心もかろくなるということですよ。

次に小説家・随筆家の五木寛之氏は自身の代表作『大河の一滴』の中で、「その流れに身をあずけて海へと注ぐ 大河の水の一滴が私たちの命だ」と言われ、「希望とか未来とか明日を求めて顔を上げているだけでは実感できない。もし逆にうなだれて視線を落として自分の足元を見たときに、もしもそこに自分の黒い影がくつきり落ちていたら大きな光が自分を照らしてくれているからこそ影ができているんだと思うこともできる。みんなに支えられて自分は生きてきた実感がある。苦しみの連続であるというけれど、その中で感動的な出会いが小さなことでもある。小さな心遣いを示されただけで、何年も忘れることができないくらい嬉しかった」また、「苦しみの中から、光を見い出す覚悟を決めるのが今は大事なのではないか」と言われ

ています。

最後に、武蔵野大学名誉教授の山崎龍明先生は、真宗講座の中で、「親鸞聖人は『本願他力をたのみて自力をはなれたる』世界が『信心』の世界であると申されました。私は、本願をたのみて自力のこころを離れて生きるこの尊さを確認したいと思うのです。お金がなくなると、家族や恋人同士のこころが離れるということになれば、それはあまりにも悲しいと言わなければなりません。そういう時こそ、支え合える人と人でありたいものです。本願他力をたのむ人とは、そのような人をいうのです」と言われました。

さて私自身、この三名の方々のお言葉が、今後の人生を生きていく中で、人々の支えとなり、力と勇気が湧いてくるような、深く重い、心にしみる、尊いものであると感じるのです。

その中で、私たちは今この時をどのように生き、乗り越えて

山門の法語

昌平寺僧侶 山崎 誠 敬



昌平寺の山門と裏口に設置してある法語板（揭示板）に、毎月法語を書かせて頂くようになって十二年が過ぎました。

当時の住職からは「あまり仏教的なむづかしい言葉を用いずに、道ゆく人達に分かり易く、心に残る、時には少し考えてもらえる言葉を」とのことでした。この間、多くの方々にお手紙で、お電話で、最近ではメールで、感想や法語の味わいのお尋ねがまいました。私自身の思い以上に目をとめて下さっていることを知らされ、有り難く感謝しております。

と同時に、これより先も一層親切で丁寧な言葉を書かせて頂

かねばという思いでおります。

以前より、書かせて頂いている言葉の出典を尋ねられておりました。著名な仏教法家の本を読み終えた折、私なりに短くまとめてみたり、各所での法話を聴聞させて頂いたなかで印象に残ったことを書かせていただく。

また、浄土真宗に限らず多くの法語集の中から引用させて頂くことも。

仏教は釈迦仏教。いずれのことばも釈尊の残された御言葉から離れることの無いように心掛け注意しています。

浄土真宗は「お念仏」。

南無阿弥陀仏の中には八万四千のみ教えが含まれているとも言えます。

そのどこかに触れる「ことば」を、今後もお伝え出来ればという思いでおります。

称名 合掌



第二十五回昌平寺門信徒会
定期総会開催

令和二年は新型コロナウイルス感染症で始まりました。当初これ程ひどいものになるとは予想もしていませんでした。危険と感じたのは二月下旬頃で、彼岸会や春まつりが中止となり、六月実施を規約で決めている総会の実施是非を検討し始めた時には既に『大悲』六十六号原稿・総会議案書はほぼ出来上がっておりました。総会延期か中止かを役員・相談役とも協議し、例年の様な寺本堂での総会は止め、「書面評決」で議案の承認を頂く事とし、急遽、『大悲』の記事はそのまま、議案書に「補足資料」を付けて会員の皆様にご審議頂くこととしました。

総会予定日の六月七日、会長・副会長で返送された「議決権行使書」チェックした結果、五二八名の回答が得られました。この数は、会員総数の過半数を

超え、書面表決に依る総会は成立し、議案の承認も頂けました。六月一六日新役員による役員会を開催し、最終的に

会員総数 九六七名

議決権行使書 五三三枚

(期日後を含め)と総会成立・

議案の承認を報告しました。

会員の皆様のご協力に心から感謝いたします。

議案(ウ)事業計画では、秋以降の事業は実施とご報告致しましたが、その後のコロナ感染症は益々深刻となってきたことをうけて、七月役員会で年内のバス旅行・忘年のつどいは中止、『大悲』六十七号・六十八号は平常通り発行することとしました。

議案(オ)会長選任では縄田が留任と決まりました。

会長選任に伴う新役員、相談役は以下の通りです。宜しくお願ひ申し上げます。

新役員として川村千恵子さんが加わりました。会計及び名簿管理を担当していただきます。

会費入金・名簿はパソコンで管理しております。入金伝票の入力作業の中でお名前・住所等の確認の電話を差し上げることがあります。その節には宜しくお願ひ致します。

昌平寺門信徒会役員

会 長	縄田 脩
副会長(兼)	浅上勝敏
副会長	津賀 憲子
総 務	小山 鶴子
大 悲	池田新八郎
総 務	香月栄爾
総 務	佐藤 智子
会 計	川村千恵子
監査役	磯野日出夫
相談役(住職)	遠山久敬
(坊守)	小畑ヨシ
(僧侶)	根神泰淳
	関原 茂
	植原豊彦
	浅上勝敏

会長挨拶

縄田 脩

コロナ禍で非日常を強いられる最中、集中豪雨による河川の氾濫等で被害を受けられた多くの方々に心からお見舞い申し上げます。一日も早く平常生活を取り戻されますことを祈っております。

第二十三回総会で会長に選任されたました時に私は、「遠山住職を軸とした昌平寺の護持発展に協力する、門信徒会の会員を増やす」の二つの目標に掲げましたが、二年の任期満了時点で会員数九百六十七名、二十一名減となりました。

二つの方針に変わりはありませんが、「会員増」のテーマは重くのしかかっています。

これまで、門徒の方と接点を求めそこから縁を広げていきたいと考えていましたが、今コロナ感染症のため接点を求めることは従来より更に難しくなりました。

その中で、『大悲』は昌平寺と会員を結ぶ唯一の情報の架け橋と言うことで従来通り力を入れてとり組んで行きたい。

コロナ禍の中でスマホやパソコンを使った映像を伴う情報交換の方法が広く行われるようになりました。昌平寺でも住職の稿にありますように、フェイスブックを通じて三月末から全国に昌平寺の行事の情報発信を始めることができました。

此の外に、昌平寺ホームページもスマホ・パソコンで以前から発信してられています。

残念ながら私達役員はこのシステムに乗り切れていません。これからの二年間、この新しい道具を利用して、昌平寺と門信徒会会員の方々との縁を一層深められないか模索してみたい。

問題は山積みですが、会員の皆様のご指導、ご協力を得ながら進めていきたい。宜しくお願ひ致します。

新型コロナウイルス感染症 予防対策について

コロナ禍に伴う非日常的生活を強いられておりますが、皆様方にはそれぞれ頑張つて日々乗り越えておられることと拝察申し上げます。これらが新たな日常生活の形を見いだしていくのでしょうか。このような状況のなかで鳳雲山昌平寺では、十分な感染予防を行つて法事・法要をおつとめしています。すなわち、「3つの密」（密閉、密集、密接）を避けるための手立てを講じ、皆様に御案内いたしております。それぞれの行事を予定通り行うこととしています。

先ず、**密閉**を避けるための対策として、本堂の扉を開放し、



かつウイルスの除菌を兼ねた送風機を2台（寺務所前ロビーと



本堂外陣に）設置し換気に努めています。



次に、**密集**を避けるために、参拝者が着座する椅子を十分な間隔がとれるよう工夫しています。



更には、**密接**を避けるために、マスク着用を原則とし、



第一及び第二本堂下駄箱と寺務所前にアルコール液を常備して、随時手の消毒が出来るようにし、



加えて、身体が触れる場所の消毒により、飛沫の吸引等や手指によるウイルスとの接触を避けるための工夫をしています。

このようなコロナ禍の時期であるが故に、阿弥陀如来の本願力を聞きよるごび、お念仏の生活にいそむこと。そして、身近な人の悲しみ、苦しみ、よろこびに寄り添いながら、阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝えみ教をよるごび仲間づくりに努めることが、目指す心豊かな社会に近づくのではないだろうか。



私たちのちかい

「私たちのちかい」は御門主様が「これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかつた方々にもさまざまな機会であらわしていただきたい」と二〇一八年十一月に「念仏者の生き方」の肝要を四ヶ条に示して下さったものです。

昌平寺でもご住職が早速にプリントして下さり、二年前からおあさじの折りに唱和しておりますが、門信徒の方々は広くお渡し出来ていません。

ご本山では「私たちのちかい」のハガキサイズカードが作成され、参拝者や観光客に配られているとのこと。昌平寺でも折ある毎にお手渡しできたらと望んでおります。

一 自分の殻に閉じこもることなく穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまの

ように

一 むきぼり、いかり、おろかさ
に流されずしなやかな心と振るまいを心がけます

一 心安らかな仏さまのように自分だけを大事にすることなく人と喜びや悲しみを分かち合います

一 慈悲に満ちみちた仏さまのように
一 生かされていることに気づき日々々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

この四ヶ条は、日々の生活の中で常に大切に思うこと。そして常に気づかされている自分があります。

七月には九州・岐阜・長野と広い範囲が水害に見舞われました。門信徒会におけるご本人・ご親族・有縁の方と、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

「私たちのちかい」の中に唯々残り残さない、という阿弥陀様のご本願を信じ日々の歩みを続けていきたいと思えます。

故久万利祐様を偲ぶ

門信徒会会員として昌平寺の責任役員・門信徒総代を長くお勤め下さいました久万利祐様が令和二年四月十八日にお浄土に旅立たれました。

お寺の行事には常にご参加されておいででしたが、今年の元旦会にはお姿が見えず如何なされたのかと心配している中で訃報でした。

お酒を愛し、研修旅行・忘年のつどい等折りあるごとにご郷里自慢のお酒を差し入れて下さいました。お歌もお好きでカラオケでの唄声や、門信徒会の歩みを常に心にかけて話しかけて下さったお声が今にも聞こえてくるようです。四国八十八箇所を車無しで踏破されるというご健脚でもありました。

お浄土では、奥様はじめ昌平寺ご縁の方々ともお会いになり楽しく語らつておいでのことと思えます。

心よりお念仏を申し上げます。
淨願院釋宏智
南無阿弥陀佛 合掌

定例法話会

毎月第3火曜日

法話会 午後1時~2時

第二本堂

(講師は昌平寺僧侶、他各師)

注) 1月、7月、8月、12月は休会

昌平寺開基住職

小畑俊哲忌法要

開基住職小畑俊哲忌法要を昌平寺本堂において謹んで厳修いたします。

令和二年十一月二日(月)

一、午後二時より勤行

一、続いております

皆様方共々にご参拝いただきますよう、お念じ申し上げます。尚、本法要、ご参拝に際してご香典、献花、ご供物等一切固くご辞退申し上げます。合掌

昌平寺



令和二年七月二十八日

深見けん二選

たちまちに富士を呑み込む雲の峰

浅上 勝敏

向日葵や画布盛り上がるゴッホの絵

浅上 寿子

あをあをと竹の結界雲の峰

新井 雪江

日焼の子海の香りともしどりけり

大村 敬子

熊除けの鈴かたはらに雲の峰

緒方 初子

休み明け日焼の肌を競ひ合ひ

木谷 英子

日焼けの子一二三と並びけり

木下 尊子

蚊食鳥飛び始める夕支度

久保田よしみ

祖母逝きて団扇をつかふことも稀

小泉 洋一

ただいまと海の匂ひの日焼の子

芝 高子

縦走を終へ腕の日焼のくつきりと

須賀 敏子

燧岳抱へ込みたる雲の峰

鈴木すぐる

七堂の礎石は二つ雲の峰

鈴木 征子

朝顔に今日も元気をもらひけり

高橋 敏子

参観の最前列は日焼の子

永井 潮

吹き抜けのホテルのロビー夏衣

永岡美砂子

堰落つる川音高し青胡桃

縄田をさむ

初秋や有るか無きかの風に揺れ

福田 敏子

菜園の茄子葉隠れに育ち過ぎ

馬越やす子

* * *

同齡の友みな鬼籍雲の峰

深見けん二

昌平寺俳句会御案内
 毎月第四火曜日
 締切 十時
 場所 別途御案内
 句数 七句
 どなたでもご参加いただけます。

まずお寺へ

皆様方は、御家庭の御仏壇に朝に夕にお手を合わせていらっしやいますね。

本堂は家庭の仏壇の延長線にあるものです。俱に心のよりどころとしてお気軽にお参りください。昌平寺は皆様のお寺です。お葬儀の相談、お墓、仏塔の購入、お遺骨の一時預かり、ご法要の相談、ご仏壇の購入、ご本尊入仏慶讃法要等々仏事の事なら何なりと迷わずにご相談ください。また、昌平寺では、年一度皆様方にお送りしております年間行事表、大悲の冒頭にも掲載してありますように年間を通して十回の仏行事があります。ご家族お揃いでお参りください。本願寺でも有名な先生方をお招きしての御講演、定例法話会もありますので、ご聴聞ください。更に門信徒会による茶話会、書写の会、春まつりのお茶席、年一回の昌平寺門信徒会の親睦をはかる研修旅行等の行事もあ

ります。

ご参加ください。お待ちしております。

最近、テレビ、新聞、週刊誌等で話題になっております葬儀において、納得のいかない請求が多々発生し、トラブルとなることしばしば見受けられるようです。

葬儀業者の当初の見積り金額、ネット等で調べた金額と大幅に請求金額が違うこともあると聞いております。

やり直しのきかない葬儀ですから各自が細かい部分まで十分に確認され納得されたうえご契約いただければと存じます。

お葬儀の契約についての苦情の増加は、葬祭業の営業に許認可制がなく新規参入がしやすいという背景があるほか、突然訪れる身内の不幸に動転して、業者のペースで契約してしまうことが多いようです。

こうしたことから、ご葬儀は出来るだけご本人が生前中にご家族と話し合いの上、お葬儀の予算、ご参加者予定人数・お知らせ

せする方々の住所、氏名、ご家庭の宗派、遺影のお写真、斎場等についてご家族と相談してあらかじめきめておくことご安心いただけると存じます。

お葬儀については、まず昌平寺にご相談ください。信頼できる葬祭業者をご紹介させていただきます。

当昌平寺では葬祭齋場二ヶ所、法事本堂二ヶ所を備え、ロビー、駐車場も整備してご来寺のお客様にご不便のないよう努めております。

預骨室のご利用、墓地については、墓苑をお持ちでない方に、当寺では仏塔（永代供養付き合同墓所）、また残りは少なくありませんでしたが、墓地のご用意もありますし、その間のお預かりも出来ますのでご利用ください。

なお、当昌平寺では、従来どおり門信徒の方々にご寄進をお願いすることは一切ございませんのでご安心ください。

合掌

編集後記

非常事態宣言の解除後、新型コロナウイルスの収束を願いつつも感染者が増え続ける中で夏を迎え、大悲六十七号の編集に入りました。今号には中止となりました第二十五回門信徒会総会の報告記事がありますので、ご確認頂きますように。

同時に会員皆さま方のご協力に感謝申し上げます。

お寺の行事も無参拝法要となり、ご法話がなくなりました。今号では、六月の法話会で聴聞致しました花山勝弘師・昌平寺の正門、裏門それぞれの右横にある法語板に言葉を書いて下さっている山崎誠敬師のお二人から貴重な原稿を頂きました。

九月の秋季彼岸会には、ご一緒にお参りできますようにと願いつつ。

南無阿弥陀佛 合掌

憲子

Topics



「千の風になって」
斉唱



春季彼岸会

遠山久敬 住職



仏説阿弥陀経読経



合同墓地追悼法要



故久万利祐氏葬儀



六月の法話会

花山勝弘師



預骨室



預骨室盂蘭盆会

